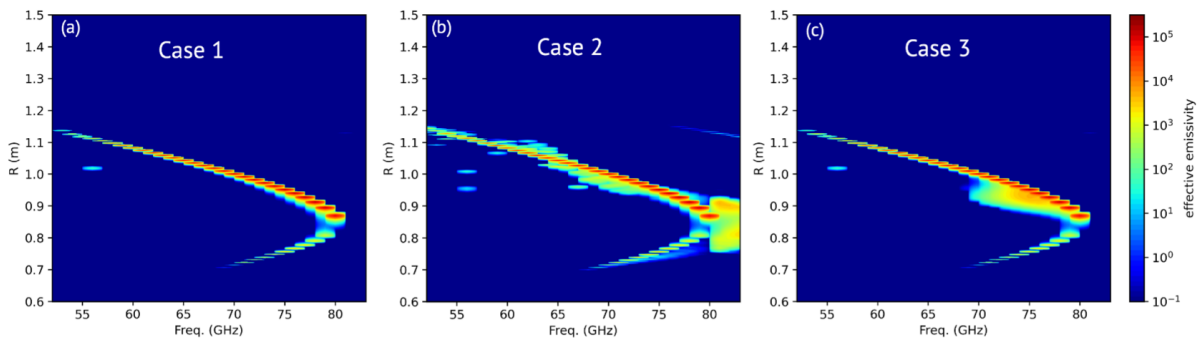


# プラズマ・核融合学会誌

第102巻第6号

2026年6月

解 説	RFQ 線形加速器の現状と大電流化に向けた取り組み … 池田翔太, 林崎規託, 岡村昌宏	239
講 座	科学研究のための生成 AI	
	1. はじめに …………… 横山雅之	246
	2. 生成 AI とは何か? 人間に挑戦する Artificial Scientist の現状 …………… 笹野遼平	248
	Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト ……………	255
新刊図書紹介	……………	256
インフォメーション	……………	257
	幅広いアプローチ活動だより (121)	
	【会議報告】 18th International Symposium on Advanced Plasma Science and its Applications for Nitrides and Nanomaterials / 19th International Conference on Plasma- Nano Technology & Science (ISPlasma2026/IC-PLANTS2026) / 25th International Stellarator-Heliotron Workshop (ISHW2026)	
	【人事公募】	
本 会 記 事	……………	263
	第43回年会 一般講演の募集	
	プラズマ・核融合学会英文誌 Plasma and Fusion Research (PFR) の論文公開方針及び掲載料の一部 改訂のお知らせ	
	第4回プラズマ・核融合若手夏の学校参加者募集	
	訂正	
	【こちら編集委員会です】2025年下半期の学会誌(7~12月号)で最も多くダウンロードされた記事は こちら!	
編 集 後 記		



## 表紙の絵

CHD 装置における ECE 強度分布を、光線追跡コード TRAVIS を用いて予測した。アンテナは外側部 ( $R \approx 1.5$  m) に設置し、(a) バルク電子のみ、(b) 壁反射を考慮、(c) 高速電子を考慮した各条件で検討し、電子温度分布をベイズ推定を用いて評価した。  
(Fumiyoshi KIN *et al.*, Plasma and Fusion Research, Vol. 21, 1402023 (2026) <https://www.jspf.or.jp/>)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター (社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体) と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません (社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 2F

複写以外の許諾 (著作物の引用、転載、翻訳等) に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。